

新国立劇場

渋谷区本町一丁目にある日本で唯一の現代舞台芸術のための国立劇場である。オペラパレス・中劇場・小劇場の3つの劇場が設けられ、オペラ、バレエ、ダンス、演劇などの公演が行われている。1997年10月の開館以来、高い芸術性と豊潤なレパートリーで多くの観客を魅了し続けている。

『新国立劇場名作オペラ50鑑賞入門』



新国立劇場運営財団／監修 世界文化社 2012

日本を代表するオペラハウス、新国立劇場のオフィシャルブック。人気オペラ50作品を紹介する。「これだけは知っておきたい」オペラのエッセンスを一冊に凝縮。

『カリギュラ・誤解』



アルベール・カミュ／著 渡辺 守章／訳

鬼頭 哲人／訳 新潮社(新潮文庫) 1979

カミュの戯曲「カリギュラ」は、暴君として知られる第3代ローマ帝国皇帝カリギュラを題材にした作品。不条理な世界を支配するために、自らが不条理となったカリギュラ。生も愛も永遠ではない。カリギュラが見出す真理とは…。一方「誤解」は、東欧の小さなホテルで起きた実際の事件から着想を得て描かれた戯曲。幸せを夢見て殺人を繰り返す母娘の前に、昔に家を出たきりの兄が戻って来るのだが…。両作とも2018～19年に新国立劇場で上演されている。

「渋谷読書人」は

渋谷に関わる人全てに向け、おすすめ本の情報を発信していく、渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。

渋谷読書人 2022年6月・7月号

発行 / 編集 渋谷区立図書館

株式会社図書館流通センター

発行日 2022年6月

渋谷区立中央図書館

電話 3403-2591

住所 渋谷区神宮前1-4-1



「劇場へ行こう！」

バレエ・オペラ・映画・演劇の原作や観劇ガイドなどを紹介します。



『名作バレエ70鑑賞入門』

渡辺 真弓／文・監修 瀬戸 秀美／写真
世界文化社 2020

バレエが大好きな人はもちろん、初めて観に行く人も楽しめるガイドブック。バレエ作品の物語、みどころ、バレエ史、舞台写真など、初演から時代とともに変化した解釈、演出などを紹介。



『アメリカひじき・火垂るの墓』

野坂 昭如／著 新潮社(新潮文庫) 2003

昭和20年の戦火の中、神戸で生き残った2人の兄妹が過ごした過酷な数か月。親も家も無くなった14歳の清太と4歳の節子が、お互いを思いやり、懸命に生きようとする。儚さの象徴として描かれる蛍が印象に残る、悲しくも心を打つ物語。1988年にスタジオジブリが映画化。



『今日も韓国ミュージカル日和』

田代 親世／著 双葉社 2021

絶対に観るべき俳優、ドラマでおなじみのミュージカル俳優、アイドル出身のミュージカルスターなど、人気の俳優を紹介。有名作品や韓国ミュージカルの解説もあり、初心者から上級者までたっぷり楽しめる一冊。



『ウィキッド 上・下』

グレゴリー・マグワイア／著
服部 千佳子／訳 藤村 奈緒美／訳
SBクリエイティブ 2007

ドロシーがオズの国に迷い込む前の物語。「オズの魔法使い」に登場する「西の悪い魔女」はどのように育ち、なぜ悪い魔女になったのか…。魔女エルファバが人間の本質について問いかける。劇団四季ミュージカル「ウィキッド」の原作。



『時をかける少女』

筒井 康隆／著 KADOKAWA(角川文庫) 2006

小説家、劇作家、俳優と多方面で活躍する筒井康隆の代表作と言えるSF小説。過去何度も映像化、舞台化されている。タイムトラベルの能力に目覚めた少女が体験した不思議な世界と、あまく切ない想いを描いた青春ストーリー。

気になる新着コーナー



『オペラガイド』

山田 治生 ほか／編著 成美堂出版 2017

ストーリーや観どころ、聴きどころ、登場人物の声域、オペラ史、舞台写真、用語集など、オペラの世界を満喫できる一冊。



『井上芳雄のミュージカル案内』

井上 芳雄／著 SBクリエイティブ 2021

舞台「エリザベート」の皇太子ルドルフ役での鮮烈デビューから20年余り、ミュージカル・演劇界の最前線を走り続ける井上芳雄が、自身の体験と豊富な知識から厳選したミュージカル作品、ナンバー、キャラクターの数々を解説。俳優ならではの視点から語られる逸話など、めくるめく舞台の世界を覗いてみてはいかがでしょうか。



『コスメの王様』

高殿 円／著 小学館 2022

長男なのに奉公に出てきた少年・利一。牛より安い値段で花街に売られてきた少女・ハナ。2人の出会いはやがて日本人の生活を一変させる大ヒット商品誕生へとつながり…。大阪で100年を超える会社を創業した“東洋の化粧品王”と呼ばれた男の一代記。



『オペラ座の怪人』

ガストン・ルルー／著 平岡 敦／訳
光文社(光文社古典新訳文庫) 2013

繰り返し映像化、ミュージカル化されてきたガストン・ルルーの怪奇ロマンス小説。異形の怪人エリックと歌姫クリスティーンとのせつない愛の物語。舞台となるオペラ座の断面図や随所にみられる訳注で、さらに「オペラ座の怪人」の世界に導かれる。



『2.5次元文化論』

須川 亜紀子／著 青弓社 2021

アニメ、マンガ、ゲームなどのバーチャルな世界を現実の世界に再現して楽しむ2.5次元文化。その成り立ちや特徴、魅力、ファンの姿を描く。「オタク」という言葉では収まらない、推し活に捧げる女子たちの熱い生態や、原作となる作品についても丁寧に解説されている。



『「地域市民演劇」の現在』

日比野 啓／編 森話社 2022

女子校のミュージカル、学習塾の演劇祭、高齢者による演劇など、現在のアマチュア劇団や演劇集団の活動は非常に多様化している。各地で活動するさまざまな劇団や演劇集団の実地調査をもとに、地元に着目した市民演劇の活動、地域社会や行政との関係を明らかにし、芸術と社会の新しい結びつきをさぐる。